

# 公開保育アンケート 集計結果

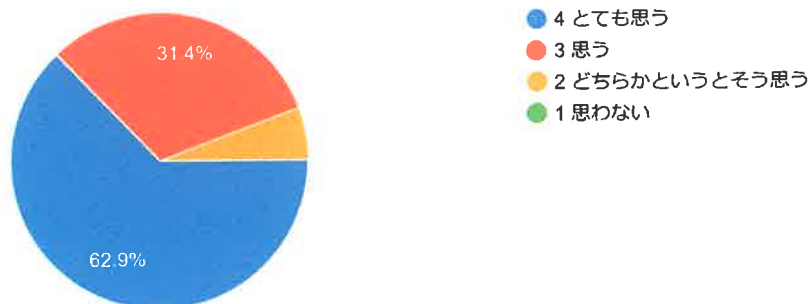
社会福祉法人 愛光会

幼保連携型認定こども園

袋井ハローこども園

Q1 一人ひとりが大切に育てられていると感じた場面がありましたか。

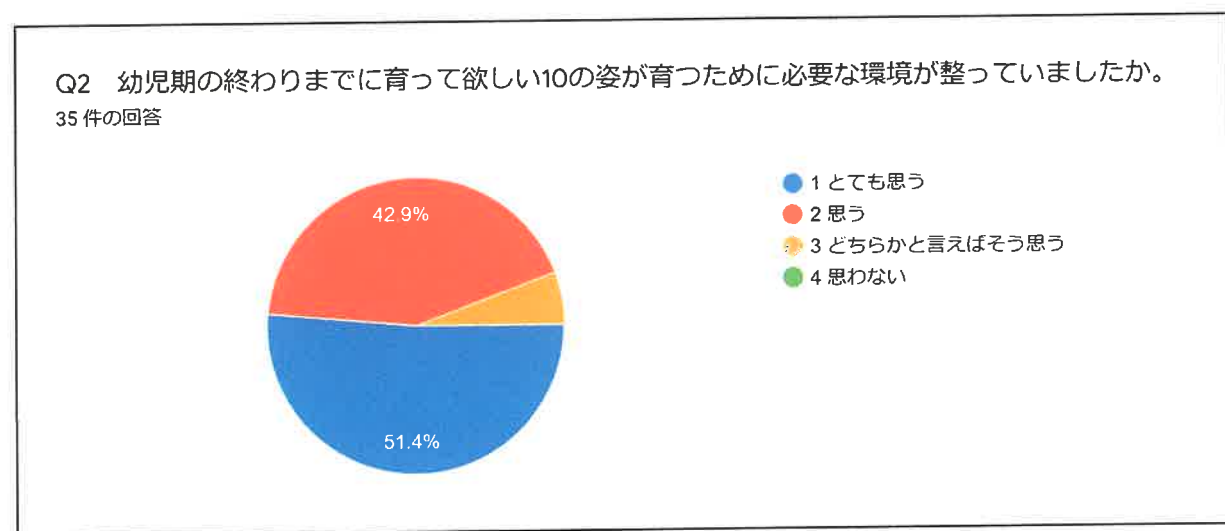
35件の回答



Q1 について、ご意見がありましたらご記入ください。(22 件の回答)

- 活動に入れない子にも丁寧に寄り添っていた為。
- 子どもたちの考えや思いに寄り添い、見守ったり支援したりされていた。
- 職員数が多く十分に関わることができていると感じました
- 安全面等配慮がされている。教材研究もしている様子が分かった。
- 好きな遊びを十分に楽しめる時間や空間、保育教諭の人員があったように思います。
- 1歳児のかけっこの場面＝一人一人の名前が呼ばれると嬉しそうに保育教諭に駆け寄る子どもの安定した姿があった。
- 室内に戻ってからの遊びの時も、やりたいことが安心感という雰囲気の中でできていて子どもたちの笑顔がたくさん見られた。
- 雰囲気に温かさを感じた。
- 子どもたちが落ち着いて過ごせているように見えた。それは一人一人に寄り添って保育がされているからこそだと思う。
- 0歳児の食事用のスプーンの1口量がやや多く感じられた。しっかり飲み込んでから、次の食べ物を口に運ぶことで、より食事をする意欲につながるのでは。介助スプーンがあるとなお良いのでは。
- 思いや考えを受け入れてほしい遊びが保障されていると思った。
- 一人一人の言葉を大切にしているところから大切に育てているなど感じました。
- 衛生面、安全面など、いろいろな場所で配慮されている。行事(クリスマス)を通して、育てたい心、姿に向けて発達に応じた制作活動を行っている。
- 好きな遊びを見つけ、主体に遊んでいる姿が伺えた
- 職員の細やかな配慮、温かい指導を感じました。
- どの子どもも落ち着いて活動に取り組んでいました。安心して過ごせている証拠だと思います。
- 教師一人一人が子どもの姿に寄り添い、思いを聞き、一緒に考える姿がありました。

- 0歳児から5歳児までの成長過程がよくわかりました。それぞれのクラスで丁寧に支援されていると感じました。
- 発達に応じたり、発達を促したりする教材が多く見られた。また、一人一人に応じた必要な援助が図られていた。
- 保育士の人数が多く、子ども一人一人に目が行き届いている感じがしました。
- 先生方が、一人一人の子どもの思いを受け止めていた。
- 多くの職員が目で見守られ、幼児が伸び伸びとしていたように感じました。
- 各クラス落ち着いて過ごしており、先生との信頼関係が感じられました。
- 子どもたちへの声掛けに暖かさを感じた。

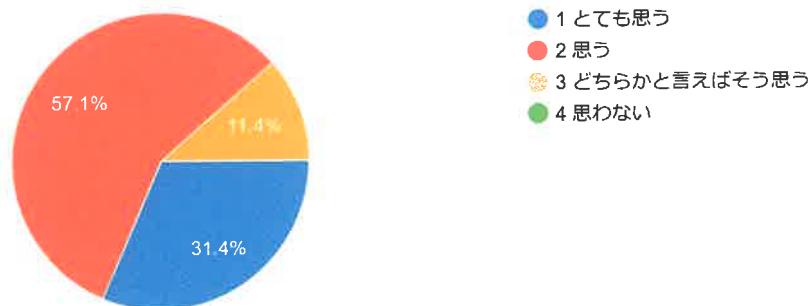


Q2 について、ご意見がありましたらご記入ください。(19件の回答)

- 子どもの作品が展示してあったり、子ども主体で動いていけるように必要最低限の援助を行っていた。
- 子ども達が主体的に遊ぶ環境が整っていてとても良いなと感じました。
- ディズニーランドを作るという思いが活かされていた。
- 子供同士の対話が生まれそうなごっこ遊びのコーナーや、協力して遊ぶことができる教材などが用意されていた。
- 一人一人が取り組みたいことがじっくり出来るように環境が用意されていた。
- 以上児の保育において、子どもが主体的に関わって遊べる環境が整えられ、いきいきと子どもたちが遊ぶ姿が見られた。
- おもちゃや室内環境など、よく考えて工夫されていると感じた。
- 学年の発達を抑えた環境が工夫されていた。ホールに飾られていた学年ごとの飾りからも教材の工夫や発達を抑えた経験ができていたと感じた。参考にさせていただくことが多かった。

- ままごとコーナーでは、様々な素材に触れて遊べられような材料が用意されていた。他のコーナーでも発達や実態に合わせた遊びができるようになっている。
- 発達に合った環境が工夫されていた
- 豊富な活動材料、さらに質の高い活動材料が整えられていました。園児の発想が豊かになる手立ての一つだと感じました。
- 手作りのままごとの玩具は、子どもたちが自分なりのイメージをもって遊べるように工夫されていた。
- イメージを伝える＝言葉での伝え合い、協同性などに繋がると感じました。
- 例えばトイレにも年齢に応じた環境設定がされているなど細かい配慮がうかがえました。
- 指導案の中に10の姿をおさえてあることで、それに向けた環境が整えられていた。
- 私自身、まだ不勉強な部分がありますので、十分な見取りができていませんが、園の規模に応じた環境構成を様々な園で拝見します。環境は人をつくると思います。カプラのような遊び道具もその一つだと感じます。
- カプラや、制作の材料、ままごとの玩具など、子どものイメージが広がりそうな教材が豊富にあった。
- 発達に合わせ、環境が豊かであると思いました。玩具で友達と共に遊ぶ姿が多く見られていました。
- 各クラス子どもたちが遊びを楽しめるよう工夫しており参考になりました。
- 子どもたちが自分で遊びを楽しめるよう、環境が工夫されていた。

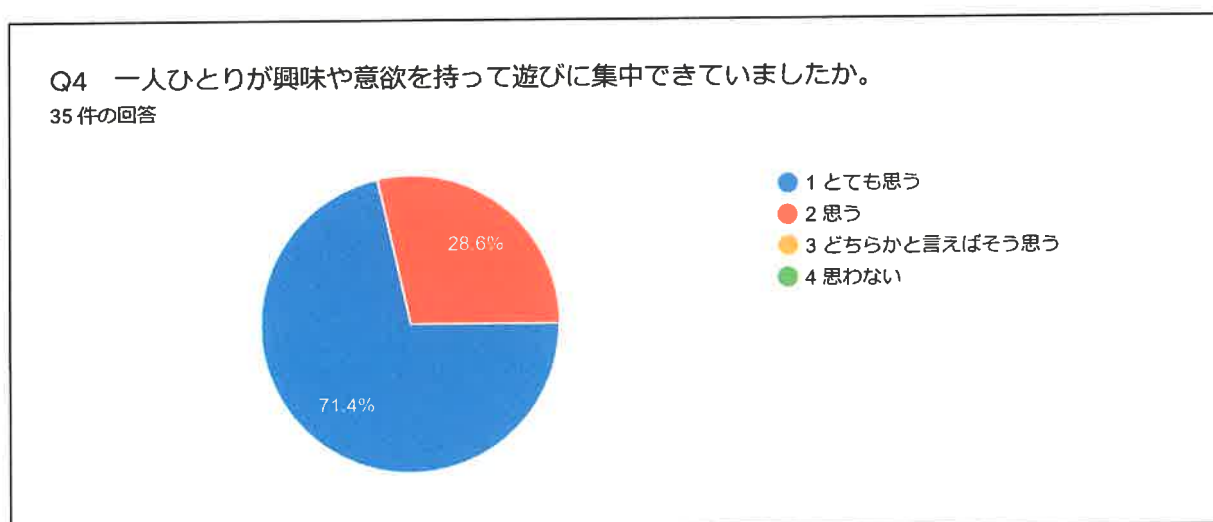
Q3 幼児期の終わりまでに育てて欲しい10の姿...に必要な保育教諭の声かけや援助がありましたか。  
35件の回答



Q3 について、ご意見がありましたらご記入ください。(10件の回答)

- 子どもの意見を取り入れて進んでいた。
- 全てのクラスを見たわけではないが、5歳児の制作遊び、協同作業ができていた。グループごとに目的を共有し、子ども同士で考え合うように促す働きかけがあった。今後どのような遊びに展開していきつつあるか見通しをもって環境を用意していくことが大切と思いました。

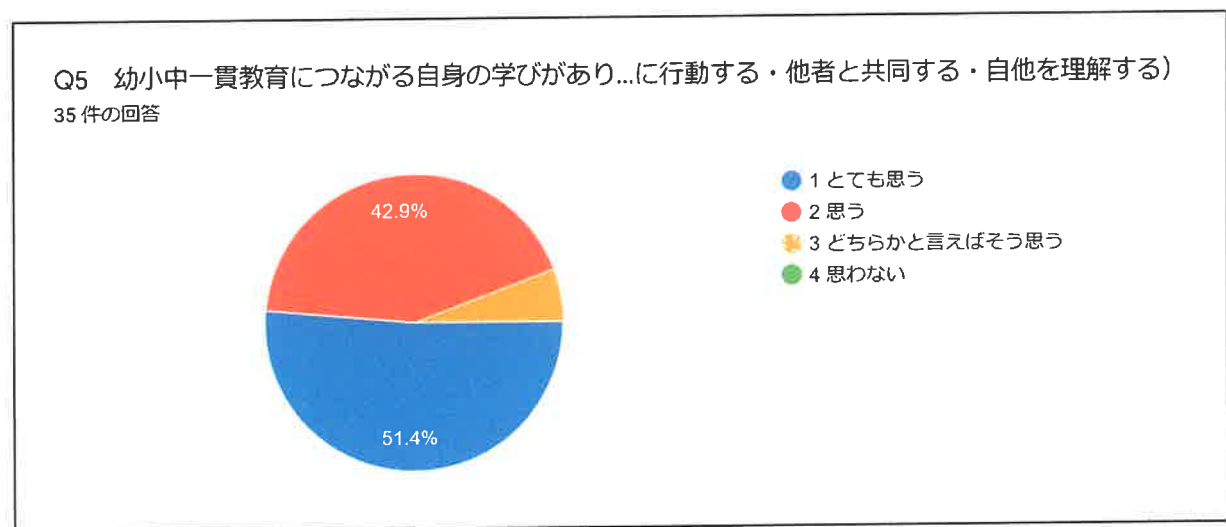
- 個に対する助言を、全体の子どもに聞こえる広範囲の音量でかけられていたため、その子本人の所で伝えることでなお素晴らしい保育につながると感じた。
- 先生と一緒にいる場面を見れなかった。
- クリスマスの取り組み(ポストづくりや後日の返信)に感心しました。
- 園児の様子をじっくり見させていただきました。教員の声掛けをじっくり参観できずでした。
- 年齢に応じた声掛けや支援をしていると思いました。
- 5歳児のクラスでは、子どもたちの発想を引き出す援助があった。未満児クラスは見れていません。幼児同士の関わりが主で、援助面があまり見れませんでした。
- 子どもたちの声を聞き、思いや使いたい道具等答えではなく、子どもたちからこれがいいという答えが来るように声をかけており、良いと思った。



Q4 について、ご意見がありましたらご記入ください。(17 件の回答)

- 友達との関わりの中で、興味の幅が広がっていた。
- カプラでお城を作っている際、足りない物を考え自分で作る姿があり、意欲的に遊んでいると感じました。
- 好きな遊びの環境に関わっていたと思います。
- 1歳児も5歳児もやりたいことを見つけて遊ぶ姿が見られた。
- それぞれがやりたいことに取り組んでいて、何もすることがない子や、やりたくないことに参加できないような子の姿が見られなかった。
- 一人一人が思いをもち、友達と共有しながら考え工夫して遊びを進めていく姿が見られた。
- 一人ひとり自分のやりたい遊びができるということで、選んだ遊びに集中していました。
- カプラで作った物を見て、友達と話し合いながら集中して遊んだ様子が感じられた。
- 環境が豊富にあった

- 多くの園児が、飽きずに活動していました。そのための環境設定が整えられていることがわかります。
- 未満児のクラスでも興味のもった遊びにじっくり関わって遊ぶ姿が見られました。
- 子どもが自分で遊びを選ぶ際、自分の興味に応じ目的をもって遊ぶ姿が見られました。
- 年長の子どもは本当に集中していました。まさに遊びに没頭している感じでした。
- 友達同士で群れて遊ぶ姿から、集中する姿を感じました。
- 戸外遊びの様子は覗くことができませんでしたが、年長児は友達とじっくりと遊ぶ様子が見えました。
- 自分の好きな遊びを十分に楽しみ、発展させたりと見ていて楽しそうだった。



**Q5 について、ご意見がありましたらご記入ください。**(12 件の回答)

- 活動への主体性や共同性の姿は見られた。自他の理解は一人一人がどのような思いで関係しながら取り組んでいたか、もう少し深く見る必要があった。
- 乳幼児期に安定して過ごせる積み重ねが、思春期に大いに関わってくるということを、0～5 歳児クラスの様子を見て感じた。
- 幼小中一貫教育につながる保育のイメージがなかなかできなかったのが、今回の公開保育の見学で少し理解できてきたと思う。
- 友達と協力しながら遊びを進めていた。
- 純粋な学ぶ意欲、好奇心を感じました。
- 園児の主体性を大事に育てられていることを聞きました。そのために、遊びの中でどのような指導や支援の工夫をしたらいいかと研究されていることがわかりました。

- 遊戯室のカプラの作品では、他者のイメージを聞き、一緒に作ったからこそ大事にできると感じました。その姿を見た3歳児、4歳児が大事にしないといけないと感じることで規制をしなくても壊さない、大事にする心の育ちを感じました。
- 各園や学校が目指すこども像を意識して取り組むことでその効果が必ず出ると思いました。
- 未満児クラスから、小中へつながる援助をしてくださっていることを感じた。
- 幼稚園では見るができない、未満児の姿も見ることができ、積み上げがされていることを感じました。
- 子ども達同士で意見を出し合ったり、同じ目的に向かって取り組む姿を見ることができた。

**Q6 もっと聞いてみたいこと、知りたいことはありますか。 その他気づいた点、疑問点等があればご記入ください。(16件の回答)**

- 担当保育制になった時の保育士の意見などとまどいがなかったのかを知りたい。  
環境設定で工夫している所。
- 学園のテーマに向けての園内研修はどのようにされていますか？ 多種多様な教材が豊富に用意されていましたが、子ども自らの必要感により、子ども自身が目的を持って家から持ち寄る廃材などはどうされていますか？
- 降園時間前後の見学だったので、日中の活動をじっくり見学したかったです。  
もっとじっくり、ゆったり見たかったです。
- 話を聞くより実際に目で見の方がやはり良いと思いました。またこれからも機会があったら、いろんな保育を見学させていただきたいと思いました。
- 個に応じた指導がとても印象に残りました。
- 年長児のカプラを使った制作が、いつ、どのようにして生まれて今に至っているのか？ 戸外遊び等への取り組みは、どのようにしているのか？
- 市内の私立園に初めて参観させていただきました。環境面で学びが大きくありました。個人的に、ドキュメンテーションの形式と保護者との共有の仕方(ソフト?)について、詳しくお聞きしたいと感じました。今後も、保育公開の交流で学び合いができればと思います。ありがとうございました。
- 未満児の環境、とても勉強になりました
- 今回の参観では環境のところを視点に見させていただきました。次回は教師の関わり、手立ての部分を参観させていただきたいです。
- 今回の保育公開ありがとうございました。袋井市として幼小中の縦のつながりだけでなく、横のつながりも大切であると感じています。とは言っても、小学校への進学も考えるとそのつながりも必要です。ぜひ、小学校の教員(特に1年生の教員)が参加するよう促していただければと思います。いつごろ、どんな時間で公開すると小学校は参加しやすいのかを聞いていただくのも一つの方法かと思います。校種の垣根をこえてつながっていく袋井市でありたいと思います。ありがとうございました。

- 物的な環境が豊かであると感じました。幼稚園での生活よりも長い時間を過ごすこども園では、どのような遊びが繰り広げられているのか、また見せていただきたいと感じました。ありがとうございました。
- 来年山梨幼稚園もこども園化するにあたり、環境面でいろいろな学びがありました。ありがとうございました。
- 未満児の担当制から、以上児の全体での保育に移行するとき、大切にしていることや工夫などありましたら、教えていただきたいです。
- 子どもたちが伸び伸びと遊ぶ姿に、成長過程や、就学に向けての学びとなる育ちの姿が感じられました。

**【小学校教諭のみお答えください①】公開保育を通し、こども園と小学校の接続を更にスムーズにできるために必要だと感じたことがありましたらご記入ください。**(2件の回答)

- 年長児については、ゲームのなかで、ルールを守り友達と協力することで、楽しく遊ぶ姿を見せていただいた。また、年中児については、自分がやってみたいことに夢中になって取り組む姿を見せていただいた。小学校と共通するところをあらためて確認できた。今後も幼保小中で参観し合うことが、周南たちばな学園で目指す子ども像について共有する機会なると思った。
- 実際に参観させていただくことで、園児にどのような力がついているのかが見えました。小学校入学時に、その力を生かしたカリキュラムが必要だと実感しました。

**【小学校教諭のみお答えください②】こども園での教育・保育について、公開保育を通じて感じた率直な意見や発見等あればご記入ください。**(2件の回答)

- 園の温かい雰囲気を感じ、先生方が園児一人一人を大切にしていることがよく分かった。今後、さらに情報を共有し、園で育てていただいたことを受けて、指導していきたい。
- 園児の興味や関心を持続させる環境設定が多くありました。また、製作物の完成度が高く、園児の実態に合わせた取組方がされていると思いました。



【中学校教諭のみお答えください】「自立力と社会力を兼ね備えた 15 歳」というビジョン(出口)を見据えたうえで、入り口である乳幼児の姿を見て「通じている」と感じることはありませんか。(5 件の回答)

- あいさつなどコミュニケーションをとることができていた。
- 各年齢に応じた接し方を手厚くされている印象を受け、自立力に繋がっていくと思いました。遊びの中でルールを守ったり、友達と関わったりして社会力を兼ね備えていけると感じました。
- 積み木のようなものを使ってディズニーのアトラクションを作る活動から、協力して一つのものを作り上げるために活動できており、社会性につながるなと感じました。
- 中学校での振る舞いの素養は、もうすでに乳幼児、幼児の段階で生まれていると感じました。
- 社会的に自立していくためには、特に他者との関わりが大切になってきます。コミュニケーションが苦手な生徒は中学校では生活、学習、行事、部活動とそれぞれの場面でかなり苦労しています。卒業後はさらに大変になると思います。その部分は乳幼児教育の段階からの関わりも大きく影響してくると思います。

## 袋井ハローこども園 公開保育反省協議会議事録

### 園長より

- ・ 3日間の公開保育にご参加いただきありがとうございました。42名（教育委員会7名、中学校7名、小学校3名、幼稚園18名、他7名）の方が参加してくださいました。
- ・ 公開保育は初めての事なので、職員には特別のことはしないで、ありのままの保育を見てもらおうと伝えました。きょうは、皆さんの意見を聞いて今後の保育に活かしていきたいと思います。

### アンケート内容の回答

（回答内訳は、別紙参照）

Q1：一人ひとりが大切に育てられていると感じた場面がありましたか？

Q2：幼児期の終りまでに育てて欲しい10の姿が育つために必要な環境が整っていましたか？

A：園長・・・重要な部分と感じている。「とても思う」と言う人が多くなるように頑張っていかなければいけないと思う。

Q3：幼児期の終りまでに育てて欲しい10の姿に必要な保育教諭の声かけや援助がありましたか？

A：園長・・・丁寧に保育をするということを、園全体で見直しをしなければいけないと思う。

Q4：一人ひとりが興味や意欲を持って遊びに集中できていましたか？

A：園長・・・「とても思う」が69.2%あり、良かったと思う。

Q5：幼小中一貫教育につながる自身の学びがありましたか？

A：園長・・・「とても思う」が過半数あり、ありがたいと思う。

Q6：その他

《担当保育制になった時の戸惑いはなかったか？》

A：浅羽・・・就職をしたときには、すでに担当制が始まっていた。デイリープログラムや手順書を作って勉強をした。

教頭・・・「担当制って何？」から始まり、そこから勉強をして今でも手探りでやっている状態である。何が正解か分からない。給食も一斉には食べていないが、待っている子が「食べたい」と言ったらどうなるか考えた。みんなで食べたら一斉保育になるのでは、とずい分悩んだ。研修で学んだことを実践しながら、悩んでいるのは自分たちだけではないと思い、今に至っている。これからもより良い保育を目指していきたい。

園長・・・前職は、高齢者施設にいて個の関わりを大切にしていた為、保育の世界に入った当初は、自園の保育に疑問を持っていた。そんな時に、知人の保育園を見る機会があり、担当制保育を見て衝撃を受けた。子どもも先生も静かだが、好き勝手にやっているわけではなかった。自

分で考えて待つことが出来る子は、自己肯定感が高いと思う。

担当制という言葉に縛られると苦しくなるので、緩やかな担当制を取り入れている。園長が、こうした方がいいと助言をしても、職員がそう思わなければ、変わらない。

#### 《環境設定で工夫しているところは？》

A：増田（0歳児クラス担任）・・・自分のクラスにある玩具について、どう意味があってこの形なのか、この玩具でどんな発達が促されるかを勉強をした。微細コーナーと粗大コーナーを作り、ビーズクッションなどを置いてゆったりと過ごせる工夫をしている。コーナーの場所を、子ども状態に合わせて変えている。

池川（2歳児クラス担任）・・・子どもが遊びたい玩具を、出しやすくする工夫をしている。

排泄など基本的な生活習慣を、少しずつ身につけていける環境を整える。

浅羽（年長クラス担任）・・・以上児クラスは、構成遊びと見立て遊びを主に行っている。机も昨年度は常に6台が出ていたが、今年度は環境を見直し、遊びのスペースを広くとるために机の数を減らしている。

年長児クラスは、好きな遊びを選べるようにホールと保育室に分かれて遊んでいる。

現在は、園全体でもクリスマスの雰囲気を味わえるように、環境を整えている。

園長・・・一番重要なのは、人的環境だと思う。同じ環境で良い時はひと時もなく、朝・昼・夕でも違うし、光や湿度でも違う。子どもが落ち着きがないのは、環境が整っていない場合もある。大人がいかに落ち着ける環境を作れるかが重要であり、大人が楽しいと思える環境を作っていきたいと思う。

#### 《学園のテーマに向けて、園内研修はどのようにしているか》

教頭・・・学園のテーマまでまだ辿り着いていない部分がある。なかなか職員全員での研修をする時間が確保できないため、自園では4つのグループに分かれて、月に1度のペースで園内研修を行っている。今年の研修内容は、デイリープログラム・わらべうた・園庭遊び・異年齢遊びで、1月末の1日研修で発表をしている。年々研修の質が上がり、質問をする職員も増えてきて、効果が出てきているように感じている。これを突き詰めていくと、学園のテーマにもたどり着けることが出来るのではないかと思っている。

#### 参加園からの感想

##### 【のびやか MIRAI 保育園】

- ・ 担当制保育を何年か前から取り入れたと話を聞いたが、どんな感じで移行をしていったのか聞きたい。  
⇒アンケートの中の質問事項で答えていく。

##### 【今井幼稚園】

- ・ とても明るく広々とした保育室だった。机を出した状態でも、コーナーが確保されていた。
- ・ 寒かったが、園庭でものびのびと遊んでいた。
- ・ 0歳児でも、個室でおむつ替えをされていて、個人を尊重していると感じた。

- ・ 未満児クラスは、上靴を脱いで入室していて、全体的にも衛生面に気を付けていた。
- ・ 防災頭巾、防災靴が各クラス用意されていて、どのような方法でやっているのか教えて欲しい。

#### 【明和月見保育園】

- ・ 同じ0歳児からの施設なので、とても興味深く見させてもらった。
- ・ 全体的に暖かな雰囲気、安心して過ごせる場所、コーナーがあった。
- ・ ままごとコーナーが充実していた。
- ・ 職員が、共通理解をしていると感じた。
- ・ 年長児が、1つの目的を持って遊んでいる姿を見て勉強になった。

#### 【明和第一保育園】

- ・ 先生が楽しそうだから、子どもたちも楽しそうだった。
- ・ 活動の準備や活動が、意欲的だと感じた。
- ・ 環境の広さが違うが、いいところを自園に活かしていきたい。

#### 【すこやか子ども課 村木寛法先生】

- ・ 一つひとつの玩具に思いがあって、用意されている。園の意思があって素敵だと思った。
- ・ 行事に対して、昨年度と同じではなく今の子どもの実態に合わせて計画をしていると感じた。
- ・ 園長先生からも、行事に対する思いを感じた。

### 講評

#### 【すこやか子ども課 深谷初女先生】

- ・ とても勉強になった。ここ数年、保育を見させてもらっているが、質の向上を意識していると感じた。
- ・ 園長先生が、とても勉強をしている。
- ・ 朝、園長先生から、保育者が楽しまなければ子どもが楽しめないという言葉聞いた。まさにその通りで、保育の本質、基本ではないかと思う。

#### (幼児理解について)

幼児期の子どもは、遊びが中心でその中で頭と心、体も動かして学んでいる。想像力を共有しながら遊びが学びの場になっていることを理解して欲しい。

- ・ 幼児教育の学びは見えにくい。日々の保育をドキュメンテーションで振り返り、それを保護者にも配信することで共有が出来ている。保育をどのように見える化していくかが、これからの課題である。学びのプロセスの質に着目し、実践と理論が結びついていくようにしてほしい。

#### (保育の質向上について)

- ・ 袋井市では、知識や学力などをIQで測る認知能力ではなく、根気、意欲、忍耐力、我慢強さ等を高めていく非認知能力の育成に力を入れている。
- ・ 開かれた教育を目指していきたいので、研修に是非袋井市の幼児教育アドバイザーや指導主事などを講師に呼んで欲しいと思う。
- ・ 参観された方も、学びが多かったことと思う。